

THE SHOIN TIMES

“JRC/RCY International Meeting” - Wednesday, October **, 2018

青少年赤十字国際交流事業 大阪代表：水戸友理

何も知らない 0 からの出発

青少年赤十字国際交流事業の派遣メンバー大阪代表 12 名に選ばれ、8月16日から22日の1週間、マレーシアを訪問し、赤十字の活動に参加しました。

この活動に応募した理由は、「英語のスキルをあげたい」、「今、自分が見ている範囲だけでなくもっと視野を広げて物事を見たい」と

いう前向きな気持ちからでした。「赤十字については知らないことばかりだった。」と言う水戸さんですが、事前研修の課題に取り組み、赤十字やマレーシアのことを調べてることを通して見解を広げ、現地での活動をより良いものにしたそうです。そんな水戸さんの体験談を紹介します。



国際交流事業の活動の中での学び

赤十字の活動と聞けば、多くの人は私が医療関係やボランティアの活動をしてきたと考えると思います。もちろんマレーシアで献血活動や救護練習の見学もしましたが実際には主な活動はお互いの文化を知ることになりました。

まず、現地の赤十字メンバーに日本文化を紹介するプレゼン・劇・ソーラン節・折り紙・茶道のパフォーマンスで盛り上がりました。

マレーシアの文化はホームステイを通じて身近に感じることができ、食事は一週間のうちに

毎食様々な伝統料理を食べさせてもらうことができ、非常に楽しかったです。

また、良い経験になったのは日本とマレーシアの赤十字メンバーでのグループディスカッションです。日本で準備していた内容とマレーシア側が考えていた内容に少し差異があり、話し合いや発表では非常に苦労しました。臨機応変に対応することが必要になり、同じグループのメンバーとは何度も話し合い、精一杯取り組めたので本当に良い経験になりました。

今後に活かしたい貴重な経験

今回の活動は全てが私にとって初めてのことで、毎日多くのことを学び、多くのことを考えさせられました。そして自分の目で見て実際に体験し交流することで、普段日本で生活していると感ることのできない異文化の違いや良さ、また赤十字のことをより深く知ることができました。これまで

多くの方々に助けてもらい支えられて、無事この青少年赤十字国際交流を終えることができ、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。これを機に樟蔭でも、もっと赤十字活動に積極的に参加し、赤十字の良さを知ってもらいたいと思いました。そしてこれらの経験を今後に活かしていきたいと思っています。



学校法人 樟蔭学園

樟蔭中学校・高等学校